

かんらん車

夢のようにはかなく
終わりがあるのにないような
大切な思い出のページ

5・9

小・5
清水 美空

「ピリッ」

きつぷをちぎる音がした
わくわく どきどき
心音が 鳴りひびく
かんらん車へと走る私

ゆっくり上がるかんらん車
雲の上まで行けるかな
目に広がる きれいな夜景
ここが一番の特等席

見下ろせばたくさんの動物たち
動物たちのうらの顔
ライオンさえもかわいく見える
むじゃきに遊ぶ子犬のようだ

きれいな景色 やきつけて
別れの時がやってくる